

湘紅会報 2026年2月 第12号

設立 1991 年

会員 85 名

ご挨拶 代表世話人 相田康宏

2026年を迎えました。湘紅会の皆様には健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

会員数は現在 85 名ですが、皆様大変活動的に生活されており、昨年も部会活動に多くの方に参加いただき、どうもありがとうございました。おかげさまで、各部会は暑い夏が長く続いたにもかかわらず、ほぼ予定通り、活動計画を実施することができました。

会社をリタイアしたあとの過ごし方を考えておられる皆様にとって、住まいが共通しているという縦軸だけで集まる湘紅会の活動は自由であり、また安心できるものだと思います。皆様の生活設計に良きスパイスとなっているのではないかでしょうか。

本年も、各部会世話人においては意欲的に計画を立てており、少しでも多くの皆様にご参加いただけることを念願しています。今年も一年、湘紅会を是非お楽しみください。

2026年度世話人

代表世話人： 相田康宏

世話人：

倉上雅彦（ゴルフ会） 川嶋寿彦（湘遊会）
塩川明男（唄会） 三浦健児（万歩会）
宮田 廣（酒悦会） 齊藤正視（総務）

松本俊一郎さん、百歳に。



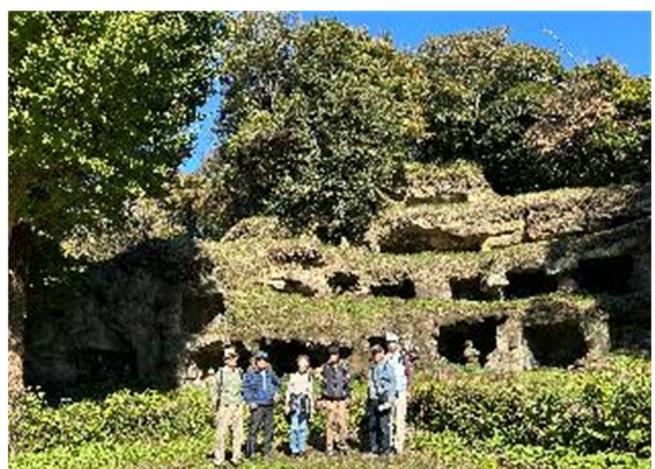
湘紅会創立者で名誉顧問の松本俊一郎様は、今年数え年で百歳になられました。お祝いに洋光台の施設を訪問し、小一時間お話ししました。長いお付き合いですが、昔と変わらず、

お達者でした。散歩が健康の源と、万歩会の常連でしたが、現在は、施設のルールで外の散歩ができずご不満でした。施設は、個室、食堂、医療いずれも充実。人生百歳時代の先駆け、松本様とお会いし、元気を頂戴しました。

（前代表世話人：酒井尚平）

部会活動

万歩会



（2025年11月 @鎌倉 名越切通・まんだら堂）

2025 年は、年間 10 回の催行予定に対し 8 回実施しました。1 月の鎌倉七福神巡りからスタートし、3 月・新企画で芙蓉 CC でのお花見、5 月・山手の丘&バラ園巡り、6 月・横須賀軍港巡り、10 月・富岡八幡宮から金沢八景、11 月・名越切通&まんだら堂、12 月・横浜みなとみらい地区の散策 & 中華街での忘年会を開催しました。1 回平均の参加者が減少傾向にありますが、忘年会には 21 名が参加しました。2026 年も神奈川県内を中心に、年間 10 回程度、お花見、名所・旧跡の散策等を企画していきますので、ぜひご参加ください。

ゴルフ会



(2025 年 12 月 @ 芙蓉カントリー倶楽部)

2025 年は、年 4 回（3、7、10、12 月）のコンペ開催を計画、3 月は悪天候のため中止せざるを得ませんでしたが、残りの 3 回は滞りなく開催でき、参加人数はそれぞれ、16、15、16 名となりました。

2026 年も芙蓉カントリー倶楽部のご協力を得て、前年同様の実施要領で、年 4 回のコンペ開催を予定しています。現在の会員数は 32 名。ゴ

ルフを通じて会員同士の気楽で楽しい交流をはかることを旨としておりますので、皆さまのエントリーをお待ちしています。

湘遊会



(2025 年 3 月 @ 横浜にぎわい座)

2025 年は、1 月に歌舞伎座で「封印切」など初春大歌舞伎を鑑賞、3 月・横浜にぎわい座にて風間杜夫と柳家喬太郎の落語を楽しみ、5 月・社会風刺コント集団ザ・ニュースペーパーの戸塚公演で大笑い、7 月・みなとみらいホールで神奈川フィルのモーツアルトを堪能し、9 月・われらが花伝亭長太楼師匠（大滝長孝氏）の落語独演会で大笑いした後、参加者そろってランチ会、11 月・東京都美術館にてゴッホ展と、多彩なプログラムを延べ 60 名の会員に楽しんで頂きました。2026 年も奇数月、年 6 回の開催を目指しており、毎回、世話役が頭を悩ませながら案を練ることになると思います。まずは 1 月に歌舞伎座での初春大歌舞伎の鑑賞でスタートしました。皆様からのアイデアをお待ちいたします。

唄会

2025年は毎月
8～9名の参
加を得て開催し
てきましたが、最
終の12月に、
残念ながら店の
手違いで年忘
れの会が流れて
しました。



2026年は、新会場を同じく鎌倉小町通りのショットバーに移して、活動を開始しました。これまでより広くなり14人程度まで参加いただけるスペースがあります。鎌倉駅から徒歩5分と近く、2階ですがエレベーターもあります。会費は3時間歌い放題・飲み放題で4,000円ぽつきり。開催は毎月第3月曜日の13時からです。

皆さまのご参加をお待ちします。

の種類、肴もさまざまです。メンバーは年齢の割にはよく呑みますが、それぞれがマイペースでリラックスしながら清談を楽しむ会です。初めての方でも心配なく参加していただけますので、お問い合わせをいただければ、開催予定をご案内します。

部会連絡先 :

万歩会 齋藤

ms0744s5@gmail.com

ゴルフ会 杉山

sugiyamatoshio@hotmail.com

湘遊会 川嶋

to-kawashima@a06.itscom.net

唄会 塩川

mustasche63@gmail.com

酒悦会 宮田

yukinoshita_miyata@jcom.zaq.ne.jp

酒悦会



(2025年10月 @鎌倉「手打ちそばさとう」)

鎌倉市とその周辺で、お酒をこよなく愛するメンバーやが集い語らう会です。年4～5回、新年会と季節ごとに開催しています。利用するお店によって酒

会員隨想

花水川河口碑

兒玉利幸

平塚市と大磯
町の間を流れ
る花水川河口
に架かる花水
川橋の平塚側
の砂丘の上に
石碑があります。



石碑の表には、「平塚市花水河口」、裏側には、「昭和十年十月起 県下名勝史跡四十五佳景

当選記念」とあります。調べたところ、当時、神奈川新聞社の前身である横浜貿易新報社が「県下名勝史跡四十五佳景」を選定、この場所が選に入り、たまたま平塚の市制施行を記念して寄贈されたものです。

私は 1942 年

(S17)から平塚に

住むようになりました。当時の平塚は人口も少なく、特に西海岸地区は松林ばかりで遊び友達もおらず、たまたま河口碑の周りで、砂丘を登ったり降りたりして一人で遊んでいました。そのときの海岸の景色が今でも忘れられません。波打ち際まで出ると、西には伊豆半島・天城山・十国峠・箱根山、それに富士山が見え、東には江ノ島・三浦半島・房総半島の先端、正面には伊豆大島とまさに絶景です。これで神奈川佳景四十五選に入ったのです。

その後、私は丸紅に入社し、海外駐在は 23 年間におよび、1999 年に平塚に戻ってきましたが、現在はわが家の周りは松林も畠もなくなり、全くの住宅地になってしまいました。市の人口も 26 万人と賑やかな町に変わっています。

リタイアして 25 年余り経ちますが、今まで元気でいられたのはこの自然の中で育ったおかげです。今はすぐ近くに公園と公民館があり、パークゴルフ、歩こう会などのグループに入り楽しんでいます。また、地域の人に誘われて俳句の同人会に入り、毎月頭をひねっています。まだ皆様に見せるような自信のある句はありませんが、そのうちに発表できるよう頑張ります。



私の水泳健康法 母里修司

1974 年(S49)に入社し非鉄鉱石部に配属、1982 年にロンドン赴任を命じられ、ロンドン金属取引所 (LME) 先物相場と現物を組み合わせた亜鉛地金販売でビジネスの基本を学びました。その後、米国会社からの帰任した 2004 年に退職し、2007 年から鉄鋼電気炉ダストから亜鉛を回収するプロセスを開発する会社の代表をしています。

私の健康法は水泳です。時間があるときは、家近くのスポーツクラブで練習しています。基本メニューは 50 メートルを 70 秒インターバルで 20 本。最後の方で心拍数が 120 近く



になり、それで仕上がりです(ちなみに私の年齢で運動時心拍数の目安は 116)。昨年も「かながわスポーツマスター水泳競技大会」に参加、75~79 歳クラス・100 メートル自由形で優勝 (1 分 27 秒 54) しました。参加者はわずか 3 人でしたが。

先日、藤沢市体育協会から本年 2 月 23 日(天皇誕生日)に藤沢市スポーツ大賞(敢闘選手賞)を授与するとの連絡を頂きました。「継続」が選考のポイントになったようです。藤沢市からの表彰は誉れであり喜んで表彰状を頂こうと思っています。因みに、写真のシャツは私の母校・福岡県立福岡高校の水泳部のユニホームです。「どや顔」ですいません。

人生を幸せにする魔法、海釣り

山崎信一郎

江の島の
麓、鵠沼で
生まれ育つ
た 1978
年(S53)
入社の山
崎です。



幼少期から魚料理が苦手で入社後も長い間釣りは無縁の存在でした。50歳直前に偶々釣り好きの先輩から釣り部へ勧誘されたことがきっかけで船釣りを始め、今では毎月3~4度、沖に出て魚を追う大の釣りバカです。

釣りを勧める中国の諺に『一日の幸せを望むなら酒を呑め、一週間なら女房を貰い、一ヶ月なら良馬を飼え、一年の幸福なら家を建て、一生幸福でいたら釣りを覚えよ』とあります。一生幸せになれる釣りのご利益とは新鮮美味な海鮮が堪能でき、沖に出て360度の絶景に感動し、多くの釣り仲間との貴重な出会いに感謝できます。また一度の釣行で3日楽しむ法ありと言われ、一日目に獲物を選び釣法を考え、二日目は大海原で実釣に興じ、三日目に新鮮な獲物が食せる楽しみがあるそうです。一方、釣りは自然相手ゆえ準備万端整えて、常に結果が出るとも限らず、また釣り代を全て豊洲市場で使えば、確実に高級魚入手できるという矛盾もありますが。さて江戸前の東京湾を筆頭に、外房から遠州灘に至る近海は日本有数の釣り場で、目前の相模湾もご利益の宝庫です。非日常の感動を味わい一生の幸せを模索されたい方は、ぜひ一度船釣りに挑戦されませんか、喜んでお手伝いさせて頂きます。(写真は、「のっこみ」真鯛@相模湾)

終の棲家

高玉正明

人生を振返る年齢(年男)となり、お墓を考える時に“贅沢な悩み”があります。大学卒業後、三菱重工業に入社し、LNG（ブルネイ）を担当していましたが、旧ソ連がアフガンに侵攻した1979年、在日ソ連大使館に勤務していたロシア人女性と恋に落ち、日本も会社も離れてモスクワ大学に留学しました。鉄のカーテン内(旧ソ連)で1982年に結婚、彼女は仕事柄、私との結婚を機にソ連出国禁止となりました。そこで彼女とモスクワで一緒に暮らすため、就職活動を行い丸紅に入社しました。

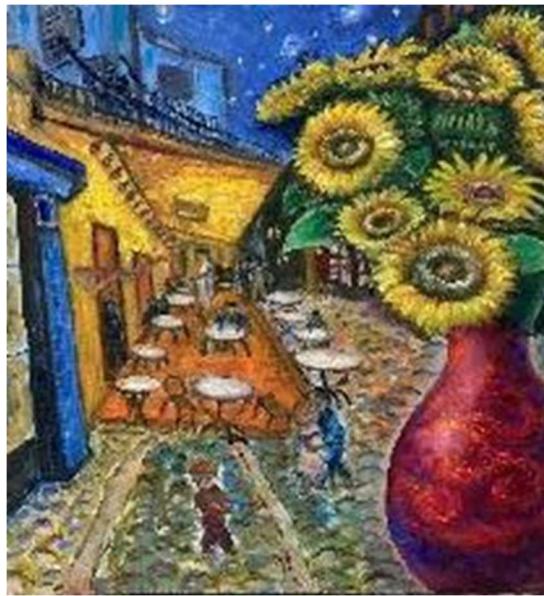


結婚した年にブレジネフ書記長が逝去、 Chernobyl時代に彼女の出国禁止が解除されて帰国しました。彼女は多才で7か国語を操り、ソ連芸術公団の日本部長をしていた経験もあり、東京ではロシア芸術の第一線で活躍していましたが、1994年に白血病で享年40歳の人生を終えました。一方で、横浜外人墓地を二人で散歩していた時、“もし私が死んだらこの場所に埋葬して”的遺言を思い出し、戦慄を覚えましたが、苦労してお墓を建てることができました。

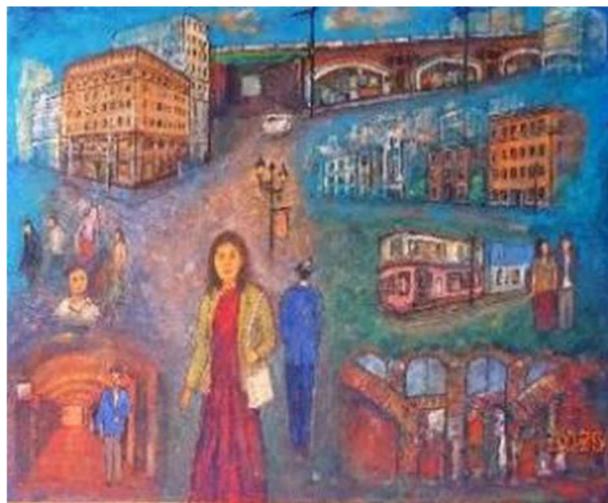
私は、その後、再婚して2人の娘に恵まれ、外人墓地のある中区に住んでおりますが、私の死後、嫁さんが、前妻が眠るお墓に私を埋葬してくれるか、“贅沢な悩み”です。

(写真は、横浜外人墓地にて)

湘紅ギャラリー



「魅せられてーゴッホ」　國友英昭



「街」　酒井尚平

湘 紅 俳 壇

令和八年春

寒晴れやひねもす映ゆる富士の山
箱根路を昇る朝日や年あらた

薄紅葉あまり待てぬと独り言
虎の子のシングルモルト年惜しむ

塩川明男

岡崎誠之助

あとがき

今回は、湘紅会創設者である松本俊一郎さんの近況を酒井尚平さんからお知らせいただきました。お元気なご様子で何よりです。
会員の皆さんも先ずは健康第一、湘紅会の部会活動がその一助になれば幸いです。
湘紅会の楽しい集まりを継続していくためには、会員数の維持・拡大も必要です。同期会・同好会などの場で、神奈川県在住のOB・OGの方々へお声掛けをよろしくお願いいたします。

湘紅会報 2026年2月 第12号

編集人 齋藤正視